

現代俳句くまもと 第一四号

総会に代わる特別措置

会報第18号において、会長候補の自薦・他薦を求めましたが、締切りまで推薦がありませんでした。そこで、役員会を開き、加藤知子会長の再任を決定しました。本来は、同決定に基づき、総会の承認を受ける必要があります（規約第6条、7条）。しかしながら、コロナ禍のため、総会を開ける状況がないため、「総会に代わる特別措置」として、この会報及び皆様の「意見にて」承認ください。」意見などは、2月末日まで、事務局あてに連絡ください。なお、決算報告等は、会報20号で報告します。

第3回 紙上句会 開催のお知らせ

投句締切 .. 2月28日
投句先 .. フ

熊本県

吉良 香織宛

Eメール

参加費：会員・準会員は、無料。

会員外の方は、投句の際、84円切手6枚
を同封してください。

5句まで投句可能（1句でも可）

○ この句会は、詠みと読みの勉強会なので、投句された句は公開されません。

第13回九州地区現代俳句大会

（優良賞）
まつすぐな胡瓜こうが痛みます
ときどきは叫びたくなる鳥瓜

萩 瑞枝
林 紀子

（参加者一句抄）

初秋のさらさら流る淋巴液
ふるさとをたためば銀河から、だま
左心室カテーテルで見る立夏かな
炎天のこぎりを引く身の軽さ

向日葵の立ち枯れ仮面舞踏会
水弾く茄子の体を拭いている

神の留守鬼の被れる人の面
みぞおちに音の膨らむ虫時雨

ロボットの大きな御辞儀山笑う
夕焼けに染まり我が身を見失う

（次席）林 紀子
身内の牡丹崩るる音を聞く
葉桜となりて祈りの生まれけり
寿命とは莢豌豆に問いかける
老人の眉間につづく夏怒濤
良夜かな今日いちにちの砂を吐く

西口裕美子
生田一代
佐藤恵美子
徳山直子

西村楊子
宮中康雄
徳山直子
荒尾かのこ

（次席）林 紀子
地賞..革命と検索をする滔天忌
人賞..幼より聞きて親しき滔天忌
佳作..七転び八起きのをと、鷹渡る
〃コロナ禍の三百五十句、滔天忌

2023年11月頃に開催する予定ですので、皆様
の協力をよろしくお願い致します。

第43回県民文芸賞

（次席）林 紀子

西村楊子
宮中康雄
徳山直子
荒尾かのこ

（次席）林 紀子
地賞..革命と検索をする滔天忌
人賞..幼より聞きて親しき滔天忌
佳作..七転び八起きのをと、鷹渡る
〃コロナ禍の三百五十句、滔天忌

- 当会の会報は第13号から、現代俳句協会ホームページに掲載されています。是非ご覧ください。
○ 「現代俳句の風」の投句用紙が届いたら、是非ご参加ください。無料で掲載されます。
○ 会員の方は、現代俳句協会から振込用紙が届き次第、今年度分の会費をお振込みください。
○ 準会員の方は、会費として、84円切手12枚を、当会事務局の西田あてにお送りください。

熊本県現代俳句協会 会報 第19号

2022(令和4)年1月25日 発行

発行人 会長 加藤 知子
編集人 事務局長 西田 和平

熊本市北区龍田陳内二丁目19番27号
電話 .. 096・337・2062

メール kumamoto_gendaihaiku@yahoo.co.jp

（西村和子選 入選）

退院の日の見えて来し秋の風
荒尾かのこ

（インターネット投句部門 入選）

秋の城仰ぐ眉間を広くして
真弓ぼたん

荒尾・グリーンランド遊園地 IKKUグランプリ

（特別審査員賞..熊本県現代俳句協会 加藤知子選）

フリーバス日焼けのあとは白時計
この夏は一人でのるとなく子かな
帰り道パパの背中でメリゴーラン

天を舞い降り立つ彼女はコクウかな
ハリケーンポテトほおばる君が好き

西村楊子
中山宙虫
右田捷明
西田和平
加藤知子
林よし子
吉良香織
徳山直子